

出雲大社周辺エリアにおける新たなモビリティの安全性・活用可能性の 検証等に係る社会実験の実施について

1 実験の目的

出雲大社周辺エリアにおいて、誰もが自由に移動し観光を楽しむことができる環境の構築と二次交通を利用した観光の促進

- (1) 新たなモビリティを活用し、歩行に不安のある高齢の方などにも家族・友人と一緒に楽しんでいただける環境の構築
- (2) 一畑電車などの公共交通を活用した観光サービスの提供

2 これまでの取組状況

令和元年度に、関係者で組織する協議会において実行可能性調査を実施したところ、観光客及び神門通り沿道店舗では、シニアカーの貸出について大多数が好意的な意見でした。この結果を受け、令和2年度以降での実証実験の実施を計画しましたが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえてこれまで中止していました。

[調査結果]

観光客の約8割が利用したい、沿道店舗の約9割が実施してもよいと回答

3 実施主体

出雲市超小型モビリティ導入等社会実験協議会 会長 田邊 達也

[委員] 市、市議会、大社地域自治協会連合会、出雲観光協会、出雲商工会、
神門通りおもてなし協同組合、一畑電車(株)、出雲市交通安全協会

[オブザーバー] 松江国道事務所、出雲県土整備事務所、出雲警察署

[事務局] 都市建設部都市計画課、総合政策部交通政策課、観光交流部観光課、
大社行政センター

4 実験内容

- (1) 人と車が共存するシェアド・スペースとして整備された神門通りや、狭あいな出雲大社周辺道路において、新たなモビリティ（シニアカー、電動キックボード）が走行した場合の安全性や周遊効果等の確認、検証

①シニアカーの貸出、安全性・活用可能性評価

期 間	令和5年11月3日（金）～12日（日） ※雨天中止 貸出時間：10時～16時 ※11月3日（金）は12時から
対 象	観光客 ※徒歩での長い距離の移動に不安のある高齢者等
場 所	[貸出場所] 神門通りポケットパーク [走行範囲] 出雲大社周辺エリア ※行先を聞いて、安全に走行できるルートを案内 神門通り、神迎えの道、社家通り、国道431号（勢溜周辺、稲佐の浜周辺、歴史博物館周辺）など

車 両	4台 ※人がゆっくり歩く速度に調整（時速2～3キロ）
料 金	無料
調 査	ビデオ観測調査、GPS計測機による回遊状況調査、利用者アンケート など

[使用予定車両]



TOYOTA C+walk S



WHILL Model S

②電動キックボードの安全性評価 ※貸出は民間により事業として実施

期 間	令和5年10月下旬～11月下旬
場 所	[貸出場所] 神門通り沿いの店舗 [走行範囲] 出雲大社周辺エリア ※神門通りは走行しない
対 象	観光客
調 査	利用者アンケート、貸出店舗ヒアリング

[車両イメージ]



(2) 二次交通を活用した観光MaaSの検討

観光MaaSに対するニーズの確認（参加意向、希望するサービス）

調 査	交通事業者、出雲大社周辺店舗、観光客へのアンケート
-----	---------------------------

[観光MaaSとは]

MaaSとは、情報通信技術を活用し、複数の交通手段を利用する際に移動ルートを最適化し、予約・運賃支払を一括で行えるサービスをいう。観光MaaSは、周遊チケットや施設・店舗での割引特典など観光客向けのサービスを付加したもの。

5 事業費及び財源

- (1) 事業費 6,840千円
- (2) 財 源 国土交通省の交付金（交付率10/10） ※市の負担なし

6 今後の予定

令和5年度

- 10月～11月 実験の実施 ※別途グリーンスローモビリティの有償運行実験を実施
- 2月 実験結果を国に報告
- 3月 実験結果を市議会に報告